

もりまち 議会だより

令和7年5月号
(第103号)
発行 静岡県森町議会



<https://www.morimachigikai.com/>



- P 2 . . . 3月定例会 概要
- P 4 . . . 令和7年度 予算概要
- P 7 . . . 1月臨時会 概要
- P 10 . . . 町政の考えを問う 一般質問
- P 20 . . . 森町体験の里等管理運営調査特別委員会 提言書提出

4月上旬に撮影した太田川桜堤の様子です。

3月定例会

森町議会は、3月定例会を3日から26日までの会期24日間で開催しました。令和7年度の当初予算をはじめ、補正予算や条例改正など提案された34議案を審議し、**全て可決**しました。

一般質問は、9人が質問しました。(10～19ページに掲載)



▲定例会の動画は
こちらから
(森町議会 YouTube)

国民健康保険税の税率改定

防災資機材購入等の補正予算



人事

森町農業委員会委員の任命について

一 木克昭氏、小澤清市氏、佐野敦子氏、清水辰範氏、杉本祐美世氏、竹内靖代氏、中根幸男氏、藤塚英一氏、船木等氏、村松喜代志氏、森下茂氏、森下光宏氏を任命することに同意する。

条例

森町消防団条例の一部を改正する条例について

森町消防団として、年間を通じて活動実績のない団員に対して、年額報酬を支給とするため条例改正する。

森町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

(詳しくはPickup①)

補正予算

令和6年度森町一般会計補正予算(第14号)

補正額 2億9,667万8千円
(詳しくはPickup②)

一般議案

公の施設の指定管理者の指定について(森町小規模保育所)

森町小規模保育所の指定管理者として「子育てサポートわらの会」を指定する。

森町道路線の廃止について

「一藤五明線」及び「五明線」の2路線を廃止する。

森町道路線の認定について

「五明線」の1路線を認定する。

		現行	改正後	現行との差
基礎課税額 (医療給付分)	所得割	6.00%	6.90%	+0.90%
	均等割	25,000 円	26,600 円	+1,600 円
	平等割	21,600 円	23,600 円	+2,000 円
後期高齢者 支援金等課税額	所得割	1.95%	2.80%	+0.85%
	均等割	7,500 円	10,100 円	+2,600 円
	平等割	6,700 円	8,700 円	+2,000 円
介護納付金 課税額	所得割	1.15%	1.90%	+0.75%
	均等割	13,700 円	19,500 円	+5,800 円

改定内容 (税率)

税額や税率を改定することにより、財源を確保し、国民健康保険事業を安定的かつ持続的に運営するため。

改正の目的

主な改正内容

国民健康保険税の税額や税率を改定する条例改正

＼Pickup／

01

国民健康保険税の税率等改定による条例改正

主な質疑内容

Q 国保税の税率はどのように変化してきているのか。

A どの地域、どのような世帯構成であっても同じ負担にするため、国では令和15年までに県単位での統一を目標にしている。

Q 近年の被保険者数の推移は。

A 平成30年度が4,498人だったが令和6年度は、3,756人と減少してきている。その理由は①全体の人口減少、②後期高齢者医療制度へ移行する方が増えたこと、③社会保険適用拡大によると考えられる。

Q 今回改定をしたら、しばらくは改定はないか。

A 国民健康保険運営協議会において、数多くの議論をいただき、被保険者の急激な負担増をできるだけ避けるため、毎年見直しを行なった上で検討していくこととなる。

主な補正内容

事業項目	金額	内容
町道改築工事	2,600万円	町道本町城下線法面对策に係る工事費。
諸備品購入費 (防災対策経費)	3,808万5千円	町指定避難所及び孤立予想集落に非常用浄水器やパック式トイレ、緊急災害用シャワーを整備。
現年発生林道補助 災害復旧工事	9,000万円	大尾大日山線に係る復旧工事。

＼Pickup／

02

防災資機材購入等の補正予算(第14号)

令和6年度一般会計予算総額を14億5535万7千円とする

2億9667万8千円を追加し、

主な質疑内容

Q 防災対策経費、諸備品購入費の中に生理用品は含まれているのか。

A 今回の諸備品は、災害時の避難場所の環境改善を図るため、非常用浄水器やパック式トイレ等を購入するもので、生理用品は含まれていない。今後、計画的に配備していく。

Q 孤立予想集落における自主避難所の備品購入というところだが、孤立予想集落とはどこか。

A 三倉地区の全域、天方地区の葛布・鍛冶島・亀久保・嵯塚、森地区の橘・薄場の17か所である。
孤立予想集落だけではなく、町指定避難所15か所にも備品を配備する。

令和7年度予算概要

歳出（支出）

歳出の主な増加要因は、ガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへの移行のための標準化・共通化システム整備委託料、制度改正に伴う児童手当費や交通安全対策事業（町道新田赤松線改築外）の増加等が挙げられます。

また、減額要因は、工業団地基盤強化事業（社会資本整備交付金）、町営住宅中川下団地外壁改善工事や森町文化会館長寿命化対策設備改修事業の減少等が挙げられます。

ガバメントクラウドとは

国が構築した共通的なシステム基盤。国や全国の自治体が活用できるもの。



歳入（収入）

自主財源の大半を占める町税は、地方財政計画の見込みや令和6年度決算見込み等を考慮し、前年度と比べて2.9パーセント増の23億4,738万2千円としました。

また、地方交付税交付金は、地方財政計画や実績見込み等を考慮し、前年度と比べて1億1千万円増の22億1千万円としました。



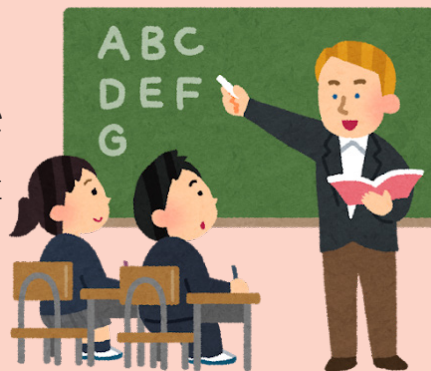
第一常任委員会注目事業

英語教育推進事業（JET プログラム含む）

3,506万6千円

Q A L T（外国語指導助手）の国籍は。

A J E Tプログラムの活用でアメリカ人が3人、イギリス人が1人、直接雇用でカナダ人が1人、派遣会社委託でフィリピン人が1人である。



Q 英語教育の効果は。

A 校内の掲示板や階段などに英語の表記が増え、授業だけでなくA L Tと児童・生徒が常に関わり、会話をしているような様子が見られ、外国籍の人たちと当たり前のように接している雰囲気を感じている。

部活動地域移行推進事業

11万8千円

Q 地域クラブ活動推進協議会の進捗状況は。

A 令和6年度に協議会を3回行った。中学校部活動の地域移行スケジュールを示し、令和10年度を目標に地域移行を進めている。

Q 部活動地域移行の課題は。

A 一番の問題は指導者の確保。現時点では27人ほどの登録がある。

Q 地域クラブ活動の指導者の報酬は。

A 今後設置予定の「スタート・アップ! M o r i ・ A s a h i」クラブは実証実験的な位置づけであり、参加費として1回500円を徴収し、その参加費で指導者の報酬1時間当たり2,000円を支払う予定。実施後、それが適当か検証を行い、最終的に地域クラブが立ち上がれば、地域クラブ側で報酬等を確定していくことになる。

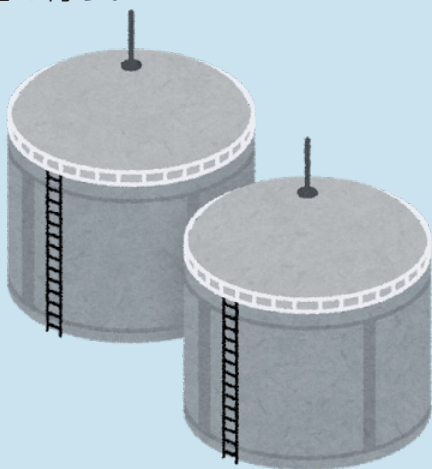
第二常任委員会注目事業

上水道安全対策事業繰出金

8,930万円

Q 南部配水池の工事予定は。

A 令和7年度、令和8年度に新しい配水池の増設を行い、令和9年度に既存の配水池の屋根の修繕を行う。



マイナンバーカード交付事業

820万1千円

Q 個人番号カードが配布されてから数年経つが、問題はないか。

A 現在の町の交付率は91.7パーセント。申請は任意であり、今のところ問題はない。申請したくてもスマートフォンを使えない、または窓口等に出向くことができない方に対して、出張申請を受け付けている。



森町体験の里指定管理委託

4,400万円

Q 森町体験の里コンサルティング調査から導いた改善点は。

A 運営体制の効率化として、予約システムを導入し、24時間受け付けることで顧客を逃がさず、さらに余裕のできたスタッフによるサービス向上対策ができるようになった。

省エネ家電買替購入費補助金

1,000万円

Q 森町省エネ家電買替購入費補助金の詳細は。

A エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、テレビ、LED照明器具、電子レンジ、炊飯ジャーの品目で、省エネラベリング制度による省エネ基準達成率100パーセント以上のものが対象。買替えに限るので、家電リサイクル券の発行を受けるなどし、領収書とともに申請する。対象経費の3分の1補助、上限5万円で200件分を計上。

令和7年度森町一般会計予算に対し、**討論**がありました。**反対**

森町では人口減少が進む中で、住宅建設や企業進出が進まないことは大きな懸念材料となっている。

今後の「リノベーション推進計画」期間の約10年間に多額の費用を要するため、メリット・デメリットの検証が必要である。

太田町長就任から遠州の小京都リノベーション事業、シティプロモーション事業など、町中の施策がかなり多くなっていると考えている。町全体を「遠州の小京都」と銘打つのであれば全町的な施策を打つべきである。

(西田 彰)

賛成

歳出の大きなものとして、台風・豪雨で被災した災害復旧工事、新田赤松線の継続工事、天方コミュニティ防災センターの設置に向けた改修が計上されている。また、「遠州の小京都リノベーション計画」に基づき、歴史的建造物調査・図面作成など、城下地区の歴史的建造物に対しての利活用を進める予算も計上されている。

歳入については、ふるさと応援金を活用し、交付税算入率の高い町債を考慮しながら、将来的公平性のある負担を勘案し、確保している。

将来の森町の発展の足掛かりとなる事業を組み込み、その先に期待が持てる予算になっている。

(川岸 和花子)

1 月
臨時会

補正予算

一般議案

森町議会は、1月臨時会を27日に会期1日間で開催しました。
補正予算など提案された2議案を審議し、賛成全員で可決しました。

令和6年度森町一般会計補正予算(第12号)

補正額

723万3千円

建設工事請負契約の締結について

対象工事

町道鍛冶島・大久保線

鍛冶島橋上部工架設工事

契約者 岡野建設株式会社

契約金額 1億2,430万円

履行箇所 森町鍛冶島地内

履行期間 令和7年1月29日～

令和8年3月19日

事業名	金額
準用河川第2小鮎川浚渫事業	320万円
中学校通級指導教室開設事業	403万3千円



1月臨時会審議結果

議案番号	件 名	議決結果	内 容
議案第 1 号	令和6年度森町一般会計補正予算（第12号）	原案可決	723万3千円を追加する補正予算
議案第 2 号	建設工事請負契約の締結について	原案可決	町道鍛冶島・大久保線鍛冶島橋上部工架設工事の契約を締結する

▶ 7ページに掲載

▶ 7ページに掲載

3月定例会審議結果

議案番号	件 名	議決結果	内 容
議案第 3 号	専決処分の報告承認を求めることについて	承 認	5. 218万7千円を追加する補正予算
議案第 4 号	森町農業委員会委員の任命について	同 意	12人を森町農業委員会委員に任命することに同意
議案第 5 号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	令和6年人事院勧告に伴う所要の条例改正
議案第 6 号	森町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	国家公務員の旅費制度が改正されたことから、国の動向を踏まえた条例改正
議案第 7 号	森町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決	法改正に伴う所要の条例改正
議案第 8 号	第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	令和6年人事院勧告に伴う所要の条例改正
議案第 9 号	第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	令和6年人事院勧告に伴う所要の条例改正
議案第 10 号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	原案可決	法改正に伴う所要の条例改正
議案第 11 号	森町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	施行令改正に伴う所要の条例改正
議案第 12 号	森町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	原案可決	法改正に伴う所要の条例改正
議案第 13 号	森町消防団条例の一部を改正する条例について	原案可決	年間を通じて活動実績のない団員に対して、年額報酬を不支給とするための条例改正
議案第 14 号	森町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	森町国民健康保険税の税額や税率を改定することによる条例改正
議案第 15 号	森町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	府令改正に伴う所要の条例改正
議案第 16 号	森町天方宿治施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	団体利用料金の上限額を改正する条例改正
議案第 17 号	森町立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	森町立図書館の管理に関する業務を指定管理者に行わせることができるようにするための条例改正
議案第 18 号	令和6年度森町一般会計補正予算（第14号）	原案可決	2億9,667万8千円を追加する補正予算
議案第 19 号	令和6年度森町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決	6万1千円を追加する補正予算
議案第 20 号	令和6年度森町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	14万6千円を追加する補正予算
議案第 21 号	令和6年度森町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	6,442万円を追加する補正予算
議案第 22 号	令和6年度森町病院事業会計補正予算（第2号）	原案可決	医療外収益に6,000万円を追加する補正予算
議案第 23 号	静岡県市町総合事務組合の規約の変更について	原案可決	本組合に加入している西豆衛生プラント組合が西豆広域行政組合に名称変更するための規約変更
議案第 24 号	公の施設の指定管理者の指定について（森町小規模保育所）	原案可決	子育てサポートわらべの会を指定管理者として指定する
議案第 25 号	森町道路線の廃止について	原案可決	2路線の町道路線を廃止する
議案第 26 号	森町道路線の認定について	原案可決	1路線の町道路線を追加する

▶ 2ページに掲載

▶ 2ページに掲載

▶ 3ページに掲載

▶ 3ページに掲載

▶ 2ページに掲載

▶ 2ページに掲載

▶ 2ページに掲載

議案第27号 令和7年度森町一般会計予算

原案可決
(賛成多数)予算規模
104億2,500万円

▶ 4ページに掲載

【議案第27号の賛成多数の内訳】 賛成○、反対×

※吉筋恵治議長は採決に加わりません。

亀澤進	西田彰	中根幸男	中根信一郎	加藤久幸	岡戸章夫	川岸和花子	平川勇	佐藤明孝	清水健一	増田恭子
○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案第28号 令和7年度森町国民健康保険特別会計予算

原案可決

予算規模
19億6,477万1千円

議案第29号 令和7年度森町後期高齢者医療特別会計予算

原案可決
(賛成多数)予算規模
2億9,318万8千円

【議案第29号の賛成多数の内訳】 賛成○、反対×

※吉筋恵治議長は採決に加わりません。

亀澤進	西田彰	中根幸男	中根信一郎	加藤久幸	岡戸章夫	川岸和花子	平川勇	佐藤明孝	清水健一	増田恭子
○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案第30号 令和7年度森町介護保険特別会計予算

原案可決

予算規模
23億6,198万5千円

議案第31号 令和7年度森町大久保簡易水道事業特別会計予算

原案可決

予算規模
164万4千円

議案第32号 令和7年度森町三倉簡易水道事業特別会計予算

原案可決

予算規模
242万9千円

議案第33号 令和7年度森町大河内簡易水道事業特別会計予算

原案可決

予算規模
71万1千円

議案第34号 令和7年度森町水道事業会計予算

原案可決

予算規模
8億3,578万9千円(歳出総額)

議案第35号 令和7年度森町公共下水道事業会計予算

原案可決

予算規模
6億706万5千円(歳出総額)

議案第36号 令和7年度森町病院事業会計予算

原案可決

予算規模
40億690万2千円(歳出総額)

発議第1号 森町議会委員会条例の一部を改正する条例について

原案可決

防災課を危機管理課に改める条例改正

発議第2号 森町議会個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例について

原案可決

法改正に伴う所要の条例改正

政策提言検証評価

3月26日の本会議最終日に、議長、副議長、第一・第二常任委員会の委員長、副委員長の6人で町長に政策提言の検証評価を提出しました。

・政策提言とは

…町政の様々な課題を解決するために、町長に対して具体的な政策を提案する取組を行うことです。

・政策提言を提出してから検証評価までの流れ

…町当局が提言をどのように施策に反映させたかを検証し、評価します。

・評価の基準

…必要な取組が実施されているか、目標が達成されているか等を検証し、AからEまでの5段階でランク付けをします。(最も良い評価がA評価)



一般質問

一般質問とは、町議会議員が町政全般について、町長や執行機関に質問することを行います。

3月定例会においては、全議員12人中 **9** 人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁の要約した内容を質問順に掲載します。

	ますだ きょうこ 増田 恭子	議 員	●森町景観計画の進捗状況について
	ひらかわ いさむ 平川 勇	議 員	●役場職員の森町在住者の割合について ●町中の火の見櫓 ^{やぐら} の保存について
	なかね ゆきお 中根 幸男	議 員	●森町袋井インター通り線の促進整備について ●中川下工業専用地域の開発と企業誘致について
	さとう あきたか 佐藤 明孝	議 員	●ふるさと納税返礼品について ●職員の資格取得制度の取組について
	にしだ あきら 西田 彰	議 員	●学校給食無償化について
	しみず けんいち 清水 健一	議 員	●三倉小学校跡地利活用について
	かとう ひさゆき 加藤 久幸	議 員	●町立の義務教育諸学校の適切な教員数の維持・確保の実態について
	かわぎし わかこ 川岸 和花子	議 員	●森町の茶業構造の転換について
	おかど あきお 岡戸 章夫	議 員	●第10次総合計画策定について ●プロジェクトマネージャーの導入について

森町議会のYouTubeでは、本会議の質疑だけではなく、一般質問の様子も公開しています。

議員ごとにデータが分かれていますので、見たい一般質問が探しやすくなっています。本会議に来られた方も、来られなかった方も、ぜひ一度ご覧ください。





ますだ きょうこ
増田 恭子

問

森町景観計画の進捗状況は

答

景観形成重点地区として指定した地区はない

増田

景観計画策定、景観条例制定から2年が経過するが、景観条例重点地区設定の進捗状況は。

町長

現時点において、具体的に景観形成重点地区として指定した地区はない。

増田

景観重要建造物・景観重要樹木の指定件数は。

町長

現時点で指定したものはない。

増田

大規模な建築や工作物の設置、開発行為を行う際には届出が必要となったが、届出や事前相談はあったか。

町長

令和5年度は9件、令和6年度は2件あった。

増田

森町景観計画は、将来像を景観の観点から実現することを旨とするものだが、現在進めている町の計画はそれぞれに担当課が異なっている。どのように整合性を図っていくのか。

建設課長

政策企画課が横断的に取り組みまとめる。各種計画の担当課長・担当係が協議をする等により、それぞれの計画を共有していく。

増田

町民に対して、計画の周知・意識の啓発に取り組むとあるが具体的には。

建設課長

景観形成重点地区の候補地に対しての勉強会やワークショップ開催。アドバイザー派遣等を検討していく。

増田

景観重要建造物・景観重要樹木の指定の進め方は。

建設課長

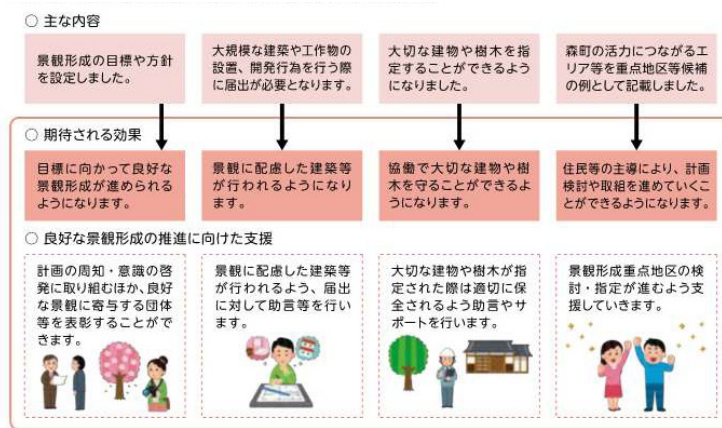
所有者の意見や考え方をしっかり聞き取りながら進めていく。

増田

所有者や町民の協力がなければ進めていけないと思うが、補助金・交付金等を考えているか。

建設課長

補助金についても検討していきたい。



森町景観計画について

令和4年10月号 広報もりまち掲載内容(抜粋)



一般質問の映像



ひらかわ いさむ
平 川 勇

問

役場職員の森町在住者の割合は

答

職員299人のうち町内在住者は174人、58パーセント



一般質問の映像

もりまち議会だより

平川

令和4年9月の一般質問に引き続き、2回目の質問をする。

自然災害が頻発し、南海トラフ地震も脅威になっている。町民の安心・安全を考え、現在の役場職員の森町在住者の割合や採用試験受験者数の割合はどのようになっているのか。

町長

令和6年4月1日時点で、町長・副町長・教育長を除いた役場正規職員は184人、会計年度任用職員115人の合計299人。（幼稚園教諭、小中学校の調理員・用務員、森町病院事務局職員を含む。）このうち町内在住者の職員数は正規職員91人、会計年度任用職員83人の合計174人。58パーセントが町内在住者である。令和6年度実施分の職員採用試験では、申込者数132人、そのうち森町在住・



平川

課長職の町外在住者の割合は。

総務課長

18パーセント弱である。

出身者は7人で、5パーセント。採用予定者数は24人、そのうち森町在住・出身者は2人で、8パーセントである。採用試験は、住所地も町内、県外と制限することなく幅広く門戸を開き、優秀な人材を確保するように努めている。森町在住・出身者を増やす取組を検討していく。

【その他の質問】

町中の火の見櫓の
保存について

平川

城下地区は、古民家や町並み保全等で歴史的資源活用のまちづくり事業計画であるため、火の見櫓の保全活用を考えるべきではないか。

町長

現存する火の見櫓は、経年劣化によりさびや腐食が散見される。安全面を最優先と考えて、地元から解体・撤去の要望や危険性の高いものから順次撤去しており、今後もその方針で進めたい。城下地区の皆さんが歴史的資源活用まちづくり、地域のランドマークとして残したいという希望があるならば、地域の皆さんと共に保全活用を検討していきたい。



城下にある火の見櫓

平川

火の見櫓の所有者は。

防災課長

土地については主に借地であるが、火の見櫓は町が管理している。所管は防災課。（令和7年度からは危機管理課）



なかね ゆきお
中根 幸男

問

森町袋井インター通り線の整備促進は

答

県並びに袋井市と連携し、積極的に関わり合いを築きたい



一般質問の映像

中根 幸

森町袋井インター通り線は、新東名「森掛川ーC」と東名「袋井ーC」を結び、さらに国道1号線や国道150号線と結ぶ広域幹線道路で、産業振興や沿線の開発など大変期待が寄せられている。

森町管内の整備状況等について伺う。

町長

谷中〜円田区内1.2キロメートルは、県道路事業として進められている。

河川付替、農業用排水路の付替、橋梁架設、交差点の改良工事等もあり、県の説明では、工事着手からおおよそ9年はかかるということである。

中川上公民館前の交差点〜下山梨までの2.3キロメートル区間は、事業促進を図るため、県が太田川の橋を含め前後90メートル、袋井

【その他の質問】

中川下工業専用地域の開発と企業誘致について

中根 幸

中川下工業専用地域は、企業誘致を進める上で、重要な位置づけとなっている。企業誘致に向けて今後の計画を伺う。

町長

東側未利用地「牛飼他（C区画）」は、開発行為の接道要件である幅員9メートルの幹線道を10メートル延伸する工事を進めている。令和7年度までの工事により、進出を希望する企業においても、開発が可能となる状況となる。

西側未利用地「中川下（A区画）」の企業誘致用地の造成は、県企業局による造成事業を検討している。

令和7年度は、開発可能性詳細調査業務委託料を計上、測量業務や地質調査等を実施する。令和8年度には県企業局との協定締結、実施設計、令和9年度には地権者との土地売買契約の締結、令和9年度から令和11年度にかけて造成工事を想定している。



中川下工業専用地域内幹線道路

さとう あきたか
佐藤 明孝

問

ふるさと納税返礼品について何う

答

新しい魅力ある返礼品の発掘に努める



一般質問の映像

佐藤

森町ふるさと納税返礼品の価値あるものをどのような手法で発掘するのか。

町長

令和6年10月から総務省が定めるふるさと納税指定基準の見直しがされた中で、町の返礼品は令和7年2月末時点で416品と増加している。今後は寄附の獲得に向け、町の返礼品のすばらしさを的確にPRできるように、委託業者、外部人材なども活用しながら財源の確保や地場産業の振興に努めてまいりたい。

佐藤

企業版ふるさと納税を推進する方策は。

町長

企業版ふるさと納税は、企業が寄附を通じて地方公共団体の行う地方創生の取組を応援した場合に、税制上の優



遇措置が受けられる制度である。

令和3年度には2件80万円、令和4年度には3件160万円、令和5年度には1件30万円、令和6年度2月末までに3件90万円の寄附申込みをいただいた。今後も財源確保という面からも有益であると認識していることから、ふるさと納税マッチング支援サービスの活用やトップセールスによる企業版ふるさと納税獲得等により積極的に取り組んでいく。

【その他の質問】

職員の資格制度の

取組について

佐藤

職員のICTなどの各種資格取得制度について伺う。

町長

DXを進める上で、役場内のデジタル人材育成及び外部人材の活用も重要な要素と考えている。

令和5年12月に総務省から「人材育成・確保基本方針策定指針」が公表され、新たに「デジタル人材の育成・確保」が項目として盛り込まれた。デジタル技術を活用した業務は、全庁的に必要とされており、全ての職員に基本的なデジタルリテラシーの習得は不可欠となっていることから、ICTなど各種資格の取得を推進している。

デジタルリテラシーとは

活用されているデジタル技術に関する知識があること、デジタル技術を活用する方法を知っていること。

佐藤

災害等、様々な分野で活躍するドローンについては、すぐにでも操縦資格が必要と思うが、考えはどうか。

町長

町において、ドローンを基礎知識を始め、各種法令等の知識も必要であることから、職員の国家資格取得のため、令和7年度予算で2人分計上した。



にしだ あきら
西田 彰

西田

学校給食無償化の自治体が全国に広がっている。

子育て支援が一番の理由であるが、子育て世代の移住者を増やしたいとの思いが伝わる。私たち独自のアンケートでも給食無償化の声が多くある。給食無償化の考えはあるか。

町長

森町では子育て支援として、オンライン赤ちゃん健康相談、LINE子育て相談のほか、今年度から病気や気になる症状等を相談できる医療相談アプリを導入している。また、妊娠届出時、出産後にそれぞれ5万円を支給し、森っ子就学応援金事業や保育の受け皿拡大、0から2歳までの第2子の保育料無償化を実施している。このように子育て世帯への経済的負担軽減や安心して子育てができる町づくりを目指し



町の子育て支援
情報発信中！



▲子育て応援サイト
「もりっこ」はこちら

問

「学校給食無償化」について実施する考えはあるか

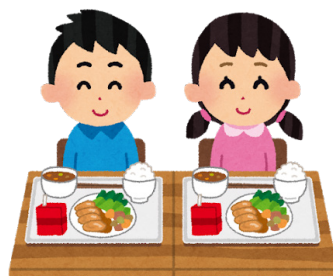
答

新たな取組に対し、国や県の動向を注視していく

ている。

学校給食については、健康的で栄養バランスのとれた安心・安全でおいしい給食を提供しており、「学校給食法」に基づき施設・設備・調理などの経費に関しては学校設置者が負担し、それ以外の食材料費等については保護者負担としている。今年度、保護者の負担軽減を図るため「物価高騰対応地方創生臨時交付金」を活用して、給食費の一部を補助しているが、同交付金は、恒常的な財源とはいえないため、経常的に充当していくことはふさわしくないと考えている。昨年、文部科学省が学校給食無償化について全国自治体における取組実態や成果・課題を調査し、整理して検討する予定であることを発表した。今後、学校給食無償化に係る新たな取組に対し、速やか

に対応できるように国や県の動向を注視していく。



▲文部科学省の「『給食無償化』に関する課題の整理について」はこちら



一般質問の映像



しみず けんいち
清水 健一

問

三倉小学校跡地の利活用と町指定避難所としての扱いは

答

町指定避難所としての扱いは解除予定



一般質問の映像

清水

三倉地区避難所に指定されている旧三倉小学校の跡地利活用が始まった場合、避難所としての扱いはどうするのか。

町長

三倉地区・天方地区の指定避難所の割り振りを見直し、安全性に課題がある旧三倉小学校は、指定避難所・指定緊急避難場所の指定を解除する予定。

清水

当該箇所が土砂災害特別警戒区域等に指定されたのはいつか。

防災課長

急傾斜地の崩壊の土砂災害警戒区域は平成27年3月に指定、土石流警戒区域は平成26年1月に指定。



清水

三倉小学校跡地利用の優先交渉権者事業者が辞退されたとのことだが、今後事業者は危険な状況の中で事業運営をしていくことになると思うがどうか。

財政課長

事業者が跡地利用を検討する際に、事前に土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）等についてを説明した上で検討してもらう。

清水

三倉小学校跡地利活用を優先させるために、旧三倉小学校の町指定避難所を解除するのか。

防災課長

学校跡地利活用と指定避難所解除のタイミングが一緒になったが、利活用とは別で考えている。



清水

町指定避難所について、今後も地元と意見交換を実施するのか。

町長

三倉・天方地区に限らず、森町全域において、行政と自主防災会との連携を強固にしていく。



かとう ひさゆき
加藤 久幸

問

町立小中学校の適正な教員数の維持・確保の実態は

答

会計年度任用職員等を配置し、補助・支援に努めている

加藤

文部科学省が実施した教員勤務実態調査によると、

教員の長時間勤務について一定程度の改善は見られるものの、依然として歯止めがかからない状況にあり、時間外勤務の削減や業務量の軽減など働き方改革のさらなる推進が求められている。

県内では2024年当初、公立の義務小中学校で57人の教員が定数未配置となっている。町内の定数未配置の現状は。

教育長

定数基準により84人の教職員が配置されている。

加配された教職員については、11人の配当のうち7人が配置されている。町では会計年度任用職員や包括業務委託による支援員等35人を配置し、学校現場での教職員の補助・支援に努めている。

加藤

町の教職員の長時間勤務の実態は。

教育長

タブレットを利用した出勤シストシステムにより教職員の在校時間を可視化することで実態の把握をしている。この状況を元に管理職から時間外勤務の多い教職員に対し、指導・助言を行ったり、定時退庁の奨励に努めている。1日の平均在校時間は9時間49分で、4月、9月が在校時間が増える傾向にある。

加藤

校務のDXによる業務効率化や業務内容の見直しを進めるなど、今後の取組は。

教育長

教職員の勤務実態を十分に把握し、園長・校長会等において状況を共有しながら、学校ぐるみで働き方の見直しへの気運を高めていきたい。GIGAスクール構想により実現されたICT環境を有効に利用して業務の効率化を図り、教職員にとってより良い働きやすい職場を実現することにより、児童生徒に接する時間を十分確保し、一層児童生徒にとって指導・質の高い教育が提供できるよう努めていきたい。



一般質問の映像

てん 碾茶とは

揉まずに乾燥させたお茶。茶葉を蒸した後、揉まずにそのまま乾燥し、茎や葉脈などを除いた後、細片が「碾茶」となる。抹茶の原料となる。

名称の「碾」は挽く行為を表していて、粉碎するためのお茶であることを意味している。



かわぎし わ か こ
川岸和花子

問

輸出用有機栽培や碾茶生産に方向転換を考えているか

答

伝統ある煎茶を残しながらも取り組んでいく必要がある

川岸

森の茶について、輸出用有機栽培や碾茶生産に方向転換を考えているか。

町長

近年、緑茶の輸出量は増加しており、輸出単価も高い。輸出に適した有機栽培で抹茶の原料である碾茶の需要が高まっている。

これまで森町としては輸出に向けた茶業振興への転換を進めてこなかったが、伝統ある煎茶も残しながら新たな有機栽培や碾茶生産に取り組んでいく必要があると考える。

川岸

茶業振興協議会での方向性は。

町長

「遠州森の茶」の輸出による持続性の検討に移行するきっかけのため、『台湾茶業博覧会2024』へ出展、視察し

川岸

有機生産への転換は、簡単なことではないことは承知だが、それでも町内の一部の茶園から取りかかってはいいか。参加者からは「来場者の年齢層が若く、茶に関する興味が高い」「碾茶や有機茶のニーズの高さを実感した」という報告を受けた。

町としても、意欲のある農家や茶工場、商業者に対して国・県の補助事業を活用し、支援していく。

産業課長

輸出用有機茶を生産するためのには、適した品種への改植や覆う資材購入、山に囲まれたような茶園を確保することなど難しい課題が多い。生産者・関係者と話し合いをしているが、まだスタートラインに立ったばかりである。



台湾茶業博覧会 2024 の様子



一般質問の映像



おかど あきお
岡戸 章夫

岡戸

町が目指す姿と進むべき道筋を明らかにするため、の最上位の方針となる「第9次総合計画」は、平成28年度からスタートし令和7年度が最終年となる。次の「第10次総合計画」策定までのスケジュールと進め方について伺う。

町長

令和7年度から令和8年度までを策定期間とする。令和7年度は現計画の評価検証を行い、アンケート調査や公聴会、総合計画策定委員会、総合計画審議会、まちづくり検討会等の開催を予定している。

令和8年度は引き続き、総合計画策定委員会や総合計画審議会、まちづくり検討会等の開催を予定している。基本構想については、議会の議決が必要であるため、議案提出を行う。経過報告は定期的な全員協議会にて行っていく。

問

第10次総合計画策定のスケジュールは

答

令和7年度から令和8年度までを策定期間とする

岡戸

総合計画と総合戦略を一体化する狙いは。

政策企画課長

検証の負担軽減となる。総合戦略としての要件を満たせば一体化は可能となる。

岡戸

第9次総合計画策定時に、まちづくり検討会に参画させてもらったが、第8次の総括が足りなかったと感じた。今回はどうか。

政策企画課長

毎年、進捗確認や目標指標確認を行ってきたため、前回よりスムーズにできるのでは。

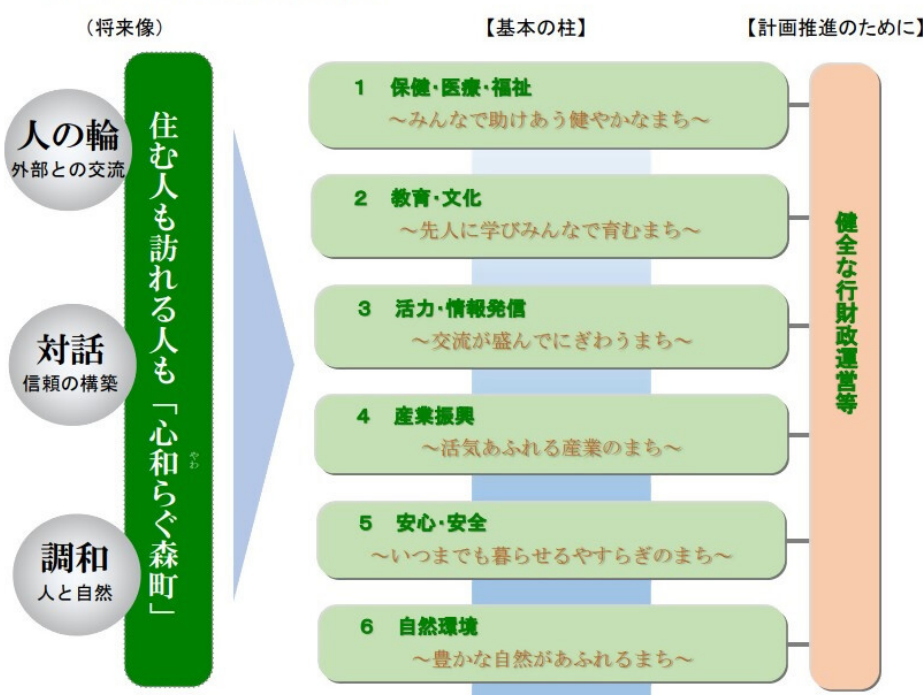
岡戸

前回策定に携わった方に、総合計画の評価を聞いたかどうか。

町長

アンケート等で答えたいだけのことでもできる。一つの意見として伺う。

■まちづくりの基本目標設定概念図



第9次森町総合計画の基本構想



一般質問の映像

【その他の質問】
プロジェクトマネジャーの
導入について

森町体験の里等管理運営調査特別委員会 提言書提出



3月26日の本会議最終日に、議長、副議長、特別委員会の委員長、副委員長の4人で町長に提言書を提出しました。

提言書の概要は、以下のとおりです。

森町体験の里「アクティ森」事業を特別委員会で調査した結果、事業規模と業績のバランスは悪化の方向をたどり、目的としていた「観光振興と推進」などを達成することが困難な状況になっていると判断した。また、類似施設の動向を研究したところ、廃止あるいは民間へ譲渡している自治体も多くあることが分かった。さらに、コンサルティング業務委託の結果報告を受け、指定管理のままで行政の枠を超えられないことがよく分かった。よって、町は当事業から一切手を引き、廃止あるいは民間譲渡を検討することを提言する。

議会だよりの感想を
お聞かせください！



6
月
定
例
会
の
予
定

- | | |
|----------|---------------|
| 5月28日(水) | 議会運営委員会 |
| 6月5日(木) | 本会議(招集)・全員協議会 |
| 6月11日(水) | 本会議2日目 |
| 6月18日(水) | 常任委員会 |
| 6月23日(月) | 本会議3日目(一般質問) |
| 6月25日(水) | 本会議(最終日) |

※会議の開始時間は午前9時30分です。

※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

ひ
ろ
し
の
り

令和7年4月に町議会議員選挙があるため、今回は議会事務局職員が「ひとこと」を執筆させていただきます。

この議会だよりの作成時点では、これから町議会議員選挙が行われる状況であったため、ここで新たな議員の皆さんを紹介することが残念ながらできませんでした。次号で紹介することができればいいと思います。

この議会だよりが皆さんのお手元に届く頃には、新たな議員が誕生していると思います。その方たちによる新しい風に期待し、引き続き議員を継続する方には、さらなるレベルアップに期待したいと思います。私も議員の皆さんに負けないように、議会運営を陰で支えられるように、努めてまいりたいです。引き続き、森町議会をよろしく願っています。

発行責任者 議長

(み)